

FIO

発表者:加藤 孝市/秦 将人

1. 会議の概要

- 名称:
Frontiers in Optics 2009 (FIO, the 93rd OSA Annual Meeting)
- 主催/共催機関:
OSA, APS
- 開催場所:
Fairmont Hotel, Saint Claire Hotel (San Jose, California, USA)
- 日時:
October 11-15, 2009.
- 発表件数:
 - Oral: 503件 Poster: 75件
- 概要:

This meeting focuses on timely topics in optical science and engineering and provides a place for members to exchange ideas and to expand their network of colleagues in both academia and industry.

(<http://www.frontiersinoptics.com/>より引用)

2. 発表内容

- 加藤 孝市 (Koichi Kato)

Title:

"All-Order Waveguide-Type Dispersion Compensator Using Arrayed Waveguide Grating"

(Session: Integrated Optics, Number: FThE4)

発表概要: AWGを用いた導波路型全分散補償回路の計算検討をおこない、本補償回路の分散補償能力がAWGの回折次数とアレイ導波路本数で主に決定されることを明らかにした。

反響と感想:

今回、初めて国際会議に参加しました。そして、国際会議に参加するには英語がとても大切であるということを改めて実感しました。発表は練習どおりに行うことができましたが、英語があまり得意ではないので質疑応答が大変でした。質問内容は、(1)デバイスのサイズは大体どれくらいか、(2)半波長板はどのように挿入するか、の二つでした。また、会議以外でもイベントなどで様々な国の方々と話す機会も多く、今回の国際会議参加はよい経験となりました。(加藤)

- 秦 将人 (Masato Hata)

Title:

"Integrated Fresnel Lens Structure in a Si-Slab Waveguide" (Session: Silicon photonics, Number: FWN4)

発表概要:

Siスラブ導波路内への低損失なフレネルレンズ構造集積の検討

反響と感想:

オーラルセッションで発表を行いました。私にとって初めての国際会議だったのでとても緊張しました。英語でのプレゼンテーションは、多少

言葉に詰まったりしてしまいましたが研究内容を正確に伝えることを特に意識して行いました。発表を行った部屋は比較的広く、50～60人の聴講者がいらっしや、皆さんが頷きながら話を聞いた下さったので話し易い雰囲気でした。

セッション全体の発表が押していた影響もあり、質問は一つだけいただき「実際にデバイスを作製した際のラフネスは考慮したのですか？」というものでした。今回のシミュレーションでは、作製時の誤差などは考慮していなかったので、「今回は考慮していません。」と答えました。また、私自身の発表が終わった後に話しかけてくださる方がいて「よく頑張ったね。」と言ってくださいました。それも良い思い出になりました。

最後に、今回の国際会議参加を通じて私が学んだこと(刺激を受けたこと)は、英語能力の必要性と、世界の研究者の方々の積極性、プレゼンテーション能力の高さです。この貴重な経験を無駄にせず、研究を行っていかうと思えることができました。(秦)
